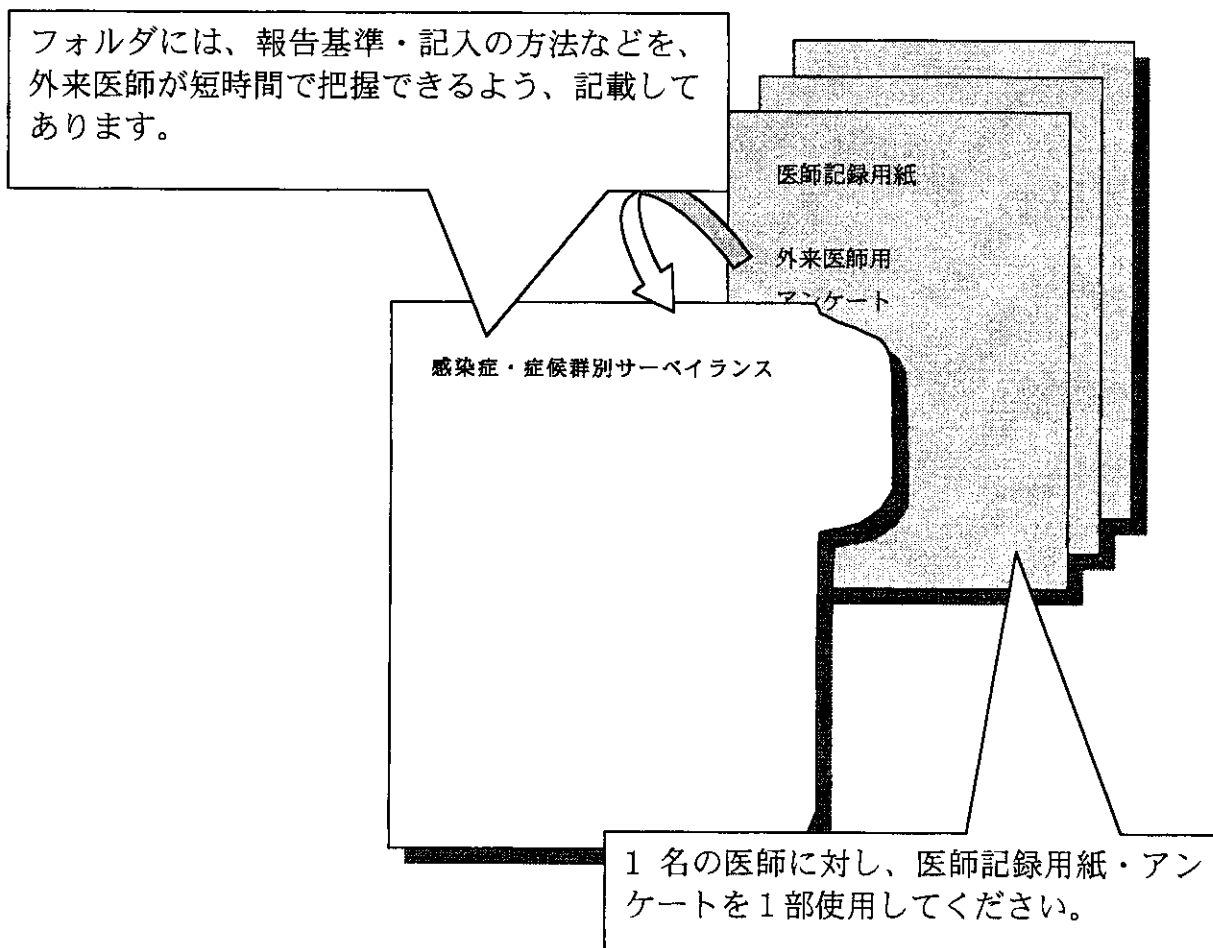


外来用フォルダについて

フォルダに医師記録用紙・アンケートを必要部数入れ、外来診察室などに設置してご利用ください。

(使用方法は貴医療機関で自由に決めていただいて結構です。)



医師記録用紙+ 外来医師用アンケート用紙

- 1名の医師ごとに「医師記録用紙+ 外来医師用アンケート用紙」のセットを1部ご使用ください。

- 「外来医師用アンケート用紙」は、記入がない場合でもホッチキスを外さずに、「医師記録用紙」と一緒に保存しておいてください。
(アンケート回収・回答率の算出のため)

- 20部同封してあります。不足した場合は恐れ入りますが、コピーしてご使用ください。

外来医師用アンケート

医療機関名

診療科

Q1 今回のサーベイランスは臨床の現場において、許容できる(診療業務の妨げにならない)ものでしたか？

はい

いいえ

いいえ(診療業務の妨げになった)と答えた方へ

どのような点が最もわずらわしい、業務の妨げになりましたか？

Q2 同様のサーベイランスを大規模イベント等の前後で、通常の診療時間帯もふくめ **24 時間** 行うことは、臨床の現場において許容できると思われますか？

はい

いいえ

いいえと答えた方へその理由は？

Q3 5つの症候群分類に関して、分類困難な症例はありましたでしょうか？

はい

いいえ

はいと答えた方へ、それはどのような主訴、臨床症状の患者でしたか？簡略にお書きください。

5つの症候群のうち(皮膚粘膜/出血・呼吸器・胃腸・神経系・非特異的)、定義の分かりにくい分類項目がありましたら、ご指摘ください。

その他ご意見がありましたら、お願いいたします。

ご協力ありがとうございました。

入力担当者用アンケート

医療機関名

所属

1日分の患者情報入力にどの程度の時間を要しましたか？

患者情報の入力過程で最も煩雑と思われた点を教えてください。

追跡調査担当者用アンケート

担当者氏名

報告患者の追跡調査へのご協力ありがとうございました。

Q1. 問い合わせを依頼した患者を特定する際、どのような手法をとられましたか？

- ア. 医師記録用紙のメモ欄に患者のID、氏名などを記録しておいた。
- イ. 報告した情報（受診日、年齢、性別、症候群）と、受診/入院患者記録などの院内記録より特定した。
- ウ. 外来担当（医師記録用紙に記入した）医師からの情報で特定した。
- エ. その他

Q2. 今回の追跡調査にご協力頂いたなかで、なにか問題点、ご意見などがございましたらお教えください。

返送案内

下記3点を同封の上、2月22日（金）までにご投函ください。

また、封筒には貴医療機関名を明記していただきますようお願いいたします。

●医師記録用紙

+

外来医師用アンケート用紙

(サーベイランス期間中に記入されたもの全て)

- 「医師記録用紙」は貴医療機関で保存の必要がある場合、コピーでも構いません。また、メモ欄の個人情報外部に漏れることはありませんが、塗りつぶしていただいても結構です。
- 「外来医師用アンケート用紙」は、記入がない場合でもホッチキスを外さずに、「医師記録用紙」と一緒に返信してください。(アンケート回収・回答率の算出のため)

●入力担当者用アンケート

●追跡調査担当者用アンケート

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
		相川直樹、堀進悟、青木克憲	救急医療データーブック	中外医学社		2001	

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
木村幹男	抗マラリア薬 塩酸メフロキン	臨床と薬物治療	21	411-413	2002
木村幹男	英国のマラリア予防ガイドラインの特徴と変遷	熱帯	35	31-38	2002
岡部信彦、加來浩器	テロ勃発時における感染症情報センターの役割	治療	84	1311-1315	2002
高橋 央、加來浩器、田中毅、松井珠乃、小坂 健、大山卓昭、岡部信彦	サッカーワールドカップ 2002 に伴う輸入感染症の発生予測	感染症学雑誌	76	102-108	2002
松井珠乃、高橋央、大山卓昭、田中 毅、加來浩器、小坂健、千々和勝巳、岩城詩子、岡部信彦	G8 福岡・宮崎サミット 2000 に伴う症候群サーベイランスの評価	感染症学雑誌	76	161-166	2002
島崎修次、村田厚夫	卒後臨床研修必修化と救急研修カリキュラム	日本医師会雑誌	126	949-952	2001
村田厚夫、山口芳裕、小泉健雄、山口 均、島崎修次	バイオテロリズムの救急対応 - Part 1: 主要な生物兵器テロの臨床	日本救急医学会雑誌	13	113-122	2002

Ng W, Fujishima S, Suzuki M, Yamaguchi K, Aoki K, Hori S, Aikawa N	Characteristics of elderly patients presenting to the emergency department with injury.	Keio J Med	51	11-16	2002
青木克憲、山崎元靖、三村啄也、黒島義明、堀進悟、藤島清太郎、木村裕之、山口啓二、鈴木昌、中村岩男、相川直樹	胃粘膜 PrCO ₂ による多臓器不全の予知に関する検討	日本救命医療学会雑誌	15	53-59	2001
深野兼司、糠塚ひろし、田熊清継、相川直樹	創傷被覆材の評価のためのラット II 度熱傷モデル	日本熱傷学会誌	27	242-251	2001
相川直樹	点滴静注用シプロキサ	臨床成人病	31	1555-1558	2001
相川直樹、青木克憲、堀進悟、藤沢清太郎	臓器不全の定義、診断、重症度判定	現代医療	33	2819-2823	2001

20010089

以降のページは雑誌/図書等に掲載された論文となりますので
「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。